

商品カテゴリと参考割率

化粧フィルム が最大 75%OFF	壁紙・クロス が最大 66%OFF
家具・チェア が最大 83%OFF	床材 が最大 82%OFF
照明器具 が最大 70%OFF	タイル が最大 84%OFF
店舗備品 が最大 50%OFF	オフィスチェア が最大 75%OFF
エコ素材 が最大 45%OFF	

* 2022年8月時点の情報になります

ECサイトのTOP画面

4earth 廃番品セレクトショップ「フォーアース」

最大75%OFF!!

商品一覧はこちら

商品カテゴリ

- 化粧フィルム
- 床材
- タイル
- 壁紙・クロス
- アートフラワー
- 照明器具
- 家具
- エコ素材

内装資材価格の高騰・在庫不足が続く中…

「廃番品という新しい選択」

4earth
廃番品セレクトショップ「フォーアース」

**建材・装飾材の廃番品利用に新機軸
「SDGs」に貢献するECサイトに高評価**

メーカーの負担を軽減
新品同様の品質で安価

新品でありながら、新商品が登場するとカタログから落ち、倉庫で眠る建材や装飾材、照明器具などの廃番品。その多くが廃棄されるこの廃番品に光を当て、有効活用しに確かな道筋をつけた画期的なECサイトがある。複合商業施設や国立博物館などの大型施設や新業態専門店の多店舗展開など、幅広い空間づくりを手がける『株式会社丹靑社』がディスプレイ業界においてサステナブルな取り組みを行い、SDGsやカーボンフリー社会の実現を目指して企画・開設した廃番品セレクトショップ『4earth』。選り

すぐりの廃番品を割安で販売するもので、メーカーの廃番品管理の経済的負担を軽減するだけでなく、廃棄物の抑制にもつなげるECサイトだ。

「廃番品とは、技術の進歩やトレンドの移り変わりなどによって販売中止となった商品です。新品と同様の状態であるにも関わらず、カタログ落ちして数年経つと、廃棄処分されるものもあります。こうした廃番品を再度商流に乗せ、処分することなく商品の活用を促すのが『4earth』です。まだまだ利用の余地がある高品質な商品を手に入れられだけでなく、環境保護の取り組みにも貢献いただけます」

2021年4月に開設した『4earth』について、同社が強調する意義と廃番品購入のメリットだ。

サイトには、建材や装飾材、照明器具などのメーカー約30社が登録、化粧フィルムや床材、タイル、壁紙・クロス、照明器具、家具、オフィス家具など500超の品目が写真付きでラインアップされている。価格は通常の価格より格段に安く、最大84%オフの商品もある。（※2022年8月時点）

『4earth』には、環境保護への貢献だけでなく、社会貢献活動に取り組みNPO法人などに寄付する仕組みが組み込まれているのも大きな特長だ。商品購入者はサイト上で、子育て支援の認定NPO法人フローレンス、公益財団法人日本自然保護協会、すべての人々が清潔な水と衛生を利用できる世界

NGO/NPO団体に以下の金額を寄付をする

000円

子育て支援: Florence

自然保護支援: NACSJ

貧困地域/水支援: WaterAid

環境保全/人材育成: OISCA

4earthに任せる

NGO・NPOへの寄附プログラムを2021年6月より開始。

廃番品ECプラットフォーム4earth 3つの提供価値

- 廃番品をセレクト**
デザインされた空間にマッチする魅力的な廃番品をセレクト
- 価格の魅力**
廃番品ならではのリーズナブルな価格
- SDGs**
廃番品等を再度流通に乗せることで製品の廃棄を抑制



4earthの趣旨に多くのメーカー様の賛同をいただいております

参加企業一覧（五十音順）



（2022年8月現在）

を目指す認定NPO法人ウォーターエイドジャパン、農村開発や環境保全活動を行う公益財団法人オイスカのいずれかを指定すると、売上金の中からその団体に寄付する仕組みだ。

購入者について同社は当初、廃番品という商品の特性上、在庫に限りがあるため、少量を扱う工務店や内装リフォーム会社、DIY志向の一般消費者などを想定していたが、建築会社や大手デベロッパー、賃貸、分譲物件を扱う不動産会社などによる購入事例が増えているという。その象徴が国内屈指の不動産開発会社の例だ。

「空間のリニューアルにあたって、SDGsの観点から廃番品のカーペットを購入しました。張替え区画の面積も狭く、かつほかのエリアとは異なる色味を選択する必要があり、丁度良い供給量でした。また、色味や

素材も質の高いものが揃っていたため、ぴったりでした」

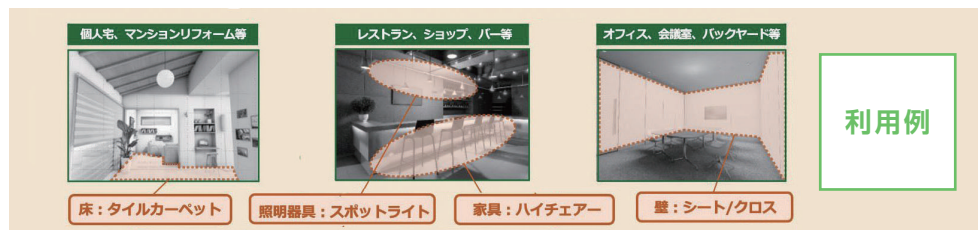
このほか、コワーキングスペースを全国展開する会社は、仕事と休暇を両立できるワーケーションスペースのグリーンによる彩りアートワーク用にアトワラワーを利用したり、ホテルが事務所の床リニューアルにタイルカーペットを購入したり、カフェが店内改装で雰囲気合うスペースポットライトを利用した例などもある。

1946年創業の「丹青社」は、百貨店の店内装飾からスタートし、1970年の大阪万博のパビリオンづくりで実力を示し、以後、商業空間やホスピタリティ空間、パブリック空間、イベント空間、ビジネス空間、文化空間などを対象に年間6000件超のプロジェクトを手がけてきた。その業容を広げたのがECサイト「4earth」。

責任者である『丹青社』企画開発センター部長の野本康仁さんによると、

「新規事業を考える中で、これまで取引のあった建材や装飾材などのメーカーと一緒にできるビジネスを模索し、コロナ禍も考慮して非接触型の事業として立案したのが廃番品をネット販売する事業です。廃番品を抱えるメーカーでは、倉庫での保管管理、廃棄の経済的コストが負担になっているほか、廃棄処分はCO₂の発生などで環境に負荷をかけることになりましたので、この課題のソリューションになると確信しました。メーカーに意向を確認したところ、ECサイトに賛同して下さり、サイトの立ち上げに向けて準備を進めました」

ECサイトを立ち上げるに際し、5人のメンバーでECサイトの仕組みから学び、マーケット、



コンセプト、商品ラインアップの選定など綿密に設計、2021年4月にサイト開設に至った。メーカーは、当初は取引のあった10社からスタートしたが、サイトの趣旨に賛同するメーカーが次々に現われ、現在は約30社にまで膨らんだ。

「廃番品」というと訳あり商品と間違えてしまう方もいるが、すべて新品で、照明器具などはメーカーの保証も付いている。加えて、現在は、建材や装飾材の原材料を扱う海外のサプライチェーンがコロナ禍や国際競争などで滞った影響があり、建材や装飾材の価格が高騰しています。こうした状況下で、高品質の建材や装飾材のメーカー正規品が国内在庫されており、安心してご購入いただけることも「4earth」の魅力になっています」



展示会やセミナーなどにより、認知拡大を図っている。

現在、建材やリフォームに關連する展示会に積極的に出展するなど「4earth」の認知拡大を図っているところであるが、中長期的には参画メーカーを40〜50社に増やし廃番品をさらに活用してもらえるようにサイトを成長させていく予定。また廃番品だけでなく、環境に配慮した素材を様々なメーカー、研究機関と開発、商品化を目指すなど、「4earth」はサステナブルな素材や情報の集まる場所へと進化していく。

（ライター／斎藤純）



「4earth」チームメンバー

廃番品セレクトショップ 4earth 株式会社 丹青社
フォーアース
✉ info@4-earth.jp
〒東京都港区港南1-2-70品川シーズンテラス19F
https://4-earth.jp/